

■ 阪神高速グループの求める技術 重点項目

【タイトル】： 損傷を広範囲に自動スクリーニングできる点検・分析・診断技術
【背景・課題】： 損傷が広範囲に及ぶ場合、点検時に対象を容易にスクリーニングし、速やかに分析・診断できる技術が望まれる。
【ゴール・目標】： 構造物の広範囲を対象とした、高精度、高速度の点検・分析・診断技術。
【実現イメージ】： ・都市高速道路を建設・管理する総合的な技術 ・将来にわたる使用のための管理・更新手法の実現
【取組み】： ・IoT、3次元モデル、ロボット等の新技術を活用して維持管理を高度化・効率化
【対象設備－対象構造物】： ・点検 － 点検
【業務分野】： ・維持管理

(2022年9月時点)